

クリーンセンターだより



全国2例目の「汚泥の助燃剤化」施設

汚泥再生施設が竣工しました



4月22日、新設された「汚泥再生施設」(写真左)の竣工式が行なわれました。クリーンセンター地元環境対策委員会の平久生会長(写真下)や地元自治会長、市議会議員ほかの皆さんがお祝いにご列席くださいました。



新施設の特徴

①下水道の普及によって、し尿処理量は日量最大140キロリットルから日量20キロリットルとなりました。このことにより、当クリーンセンターの敷地(約2万8千㎡)の半分を占めていた施設は、コンパクトな施設一棟(建築面積254㎡)に集約されました。②し尿や浄化槽汚泥からの固形分を脱水分離し、その絞りかすを「助燃剤」として可燃ごみ処理施設で焼却できます。この方式は、環境省の循環型社会形成推進交付金対象としての助燃剤化施設となり、全国で2例目です。③分離した処理水は希釈して下水道に流します。④当クリーンセンターとしては初めて生物を利用した脱臭方式を採用。これまで以上の脱臭効果を望めます。

「ごみ改革後」最大のごみ減量 - 平成21年度のごみ量が確定



平成21年度の市民1人1日あたりのごみ量(資源物や持込ごみ量を含む)は、720.4gとなりました。平成20年度と比較すると46.1g減になり、平成12年のごみ改革後最大のごみ減量となりました。

また、平成20年度より人口が増えたにもかかわらず、ごみの量は2,747t減りました。ごみ排出量が少ないことは、クリーンセンターでの処理量が少ないことにつながり、施設稼働の負担が軽減される利点にもなります。ご協力ありがとうございました。

	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	有害(危険)ごみ	資源物
平成21年度	28,377 t	5,829 t	1,517 t	73 t	10,636 t
20年度との比	1.9%減	2.6%減	46.0%減*	1.4%減	6.6%減

※粗大ごみが大幅に減っていますが、集計方法の変更に伴うものです。市民の皆さんから収集した粗大ごみの実質的な量としては、20年度比4.3%減です。

公害防止に関する測定結果(最新)

当クリーンセンターの公害防止に関する最新の測定結果は下記のとおりです。各項目とも法規制値を下回っています。

排ガス測定	単位	測定値		法規制値	
		1号炉 (H22/3/1)	2号炉 (H21/12/7)		
窒素酸化物(12%換算値)	ppm	90	89	250	
硫黄酸化物	m ³ N/h	0.34	0.20	33	32
ばいじん量(12%換算値)	g/m ³ N	0.002	0.003	0.08	
塩化水素(12%換算値)	ppm	22	28	430	
		1号炉(H21/9/3)	2号炉(H21/11/5)		
ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	0.0079	0.046	1	

※ ppmとは、100万分の1を表す単位です。

※ m³N (ノーマル立法メートル)とは、標準状態(0℃、1気圧)における気体の体積を表す単位です。

※ TEQとは、ダイオキシン類の中で最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-p-ダイオキシンに毒性等価換算したものです。

順調なスタート

「容器包装お返し大作戦！」

容器包装
「断る・返す」で
ごみ減量♪



買ったお店の「回収ボックス」にペットボトルやトレーなどの資源物をお返しいただく「容器包装お返し大作戦!」。4月からはこれを積極的に促すためにペットボトル・トレー類の市の回収が4週間に1回に変更になりましたが、多くの市民の皆さんにご協力いただき、混乱なく1ヶ月が過ぎました。今後、具体的な回収量の変動などをご報告します。

市内スーパーの皆さんにもご協力をいただいています。「お返し」に際しては、各お店のルールを引き続きお守りください。



桜花爛漫

根川桜まつり

去る4月3日、クリーンセンター地元環境対策委員会が主催した根川桜まつりが開催されました。第3回を数える今回は、桜もちょうど見ごろ(写真)。新設された汚泥再生施設の説明会の後、お花見会場でお弁当やビンゴゲームなどをお楽しみいただきました。

クリーンセンターへ見学に来ませんか

■ 月曜日～金曜日 45分間程度 ※予約制

※ご希望日時をご相談ください

申込み・問合せ先 日野市環境共生部クリーンセンター

〒191-0021 東京都日野市石田 1-210-2

☎ 042-581-0444 FAX 042-586-6606 <http://www.city.hino.lg.jp/>

「クリーンセンター」に関するご意見・ご要望もお待ちしております

